日本医師会生涯教育制度のご案内

“日本医師会生涯教育制度”

日本医師会生涯教育制度は、医師としての姿勢を自ら律するという、プロフェッショナルオートノミーの理念のもと、医師の生涯教育が幅広く効果的に行われるための支援体制整備を目的として、昭和62（1987）年に発足しました。その後今日まで、数次にわたる制度の改定を行い、その質的向上と充実を図っています。
医師が不断に学習する姿を、より明確な形で国民に見ていただき、もって、質の高い医療を提供し、国民の健康に貢献することを目指しています。

日本医師会
http://www.med.or.jp/

日本医師会生涯教育制度

制度概要

医師は、日進月歩の医学、医療を実践するために、生涯にわたって自らの知識を広げ、技能を磨き、常に研鑽する責務を負っています。日本医師会は医師の自己学習・研修を効果的に行えるよう生涯教育制度を実施しています。

本制度は、医師の研修意欲をさらに啓発・高揚させること、一方で社会に対して医師が勉強に励んでいる実態を示し、国民からの信頼を増すことを目的としており、連続した3年間の単位数とカリキュラムコード数（同一コードは加算不可）の合計数が60以上の者に「日医生涯教育認定証」を発行します。

制度対象者

広く制度に参加いただけるよう医師免許取得直後から参加できます（最短で医師免許取得後3年で日医生涯教育認定証が発行されます）。

期間

年度単位となっていますので、4月から翌年3月までに取得した単位・カリキュラムコードを、4月末日までに所属の郡市区医師会に提出して下さい（**P3**）。**全国医師会研修管理システム※を利用する講習会等については、出席が記録されるため申告は不要です。**

※全国医師会研修管理システム：都道府県医師会または郡市区医師会等が講習会等情報および出欠管理を行うオンラインシステム（以下、研修管理システムという）

カリキュラムコード（略称：CC）

日本医師会生涯教育カリキュラム〈2016〉に基づき、学習項目として84のカリキュラムコードが設定されています。同一カリキュラムコードを重複取得しても加算されません（**P5**）。

生涯教育カリキュラム〈2016〉

単位

単位は、学習した時間を表し、各カリキュラムコードごとに集計されます。最小単位は学習時間30分で0.5単位です。

単位・カリキュラムコードの取得方法（P6～7）

1. 日本医師会雑誌を利用した解答
2. 日本医師会 e-ラーニングによる解答
3. 講習会・講演会・ワークショップ等
4. 医師国家試験問題作成
5. 臨床実習・臨床研修制度における指導
6. 体験学習（共同診療、病理解剖見学、症例検討、手術見学等の病診・診診連携の中での学習）
7. 医学学術論文・医学著書の執筆

※1・2は日医会員のみですが、3～7は非会員でも取得できます。

学習単位取得証

学習単位取得証

4月に申告いただいた単位・カリキュラムコードに基づき、毎年10月頃に発行します（**P4**）。

日医生涯教育認定証

連続した3年間の単位数とカリキュラムコード数（同一コードは加算不可）の合計数を60以上取得することにより、3年間の認定期間がついた日医生涯教育認定証を発行します（**P4**）。

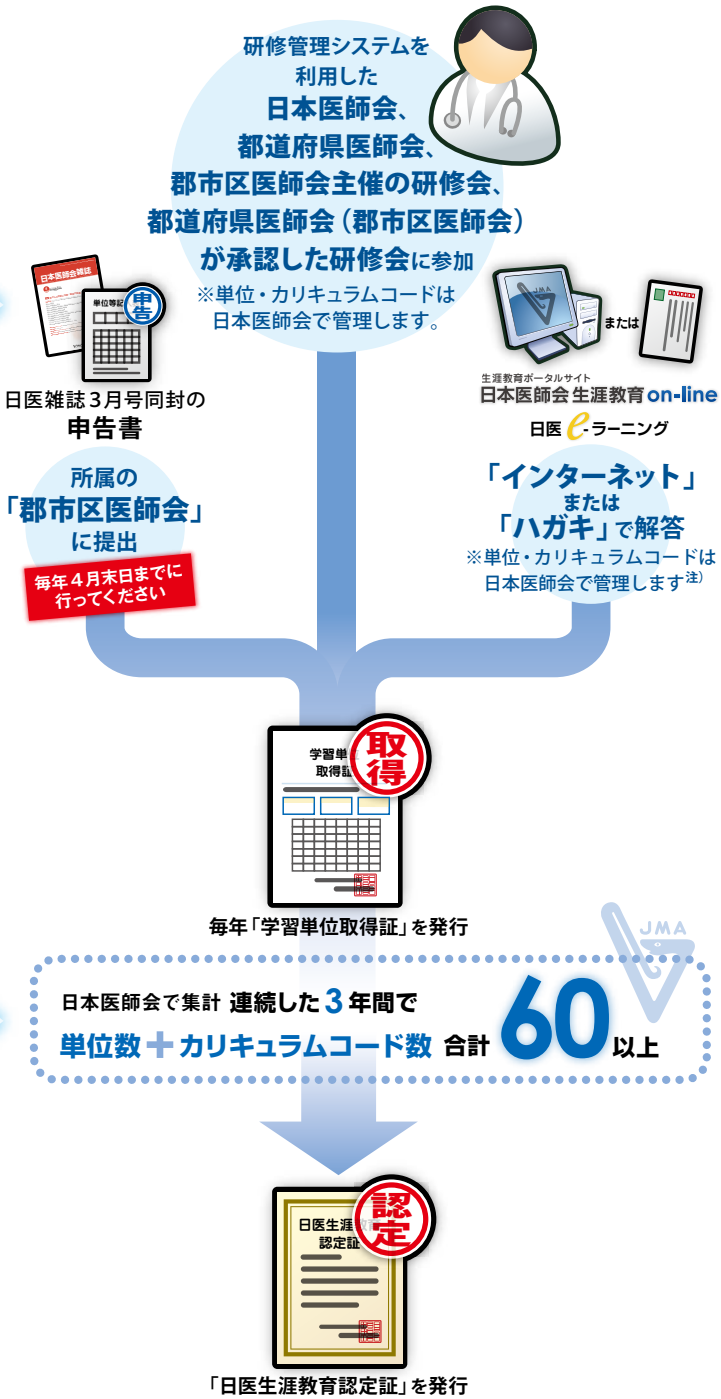
日医生涯教育認定証

申告手続き

ご所属の郡市区医師会に申告してください。その後、都道府県医師会を通じて日本医師会に報告されます。

毎年、「日本医師会雑誌」3月号に同封される申告書の「生涯教育単位等記入表」に1年間の学会等参加、医師国試問題作成、臨床実習等における指導、体験学習、論文等執筆により取得した単位及び、カリキュラムコードを記入し、必要書類を添付のうえ、4月末日までに所属の郡市区医師会に提出してください。
（研修管理システムを利用しない地域においては、講習会等への参加について、申告書に取得単位、取得カリキュラムコードを記入し、参加証等（コピー可）を添付して申告してください。）

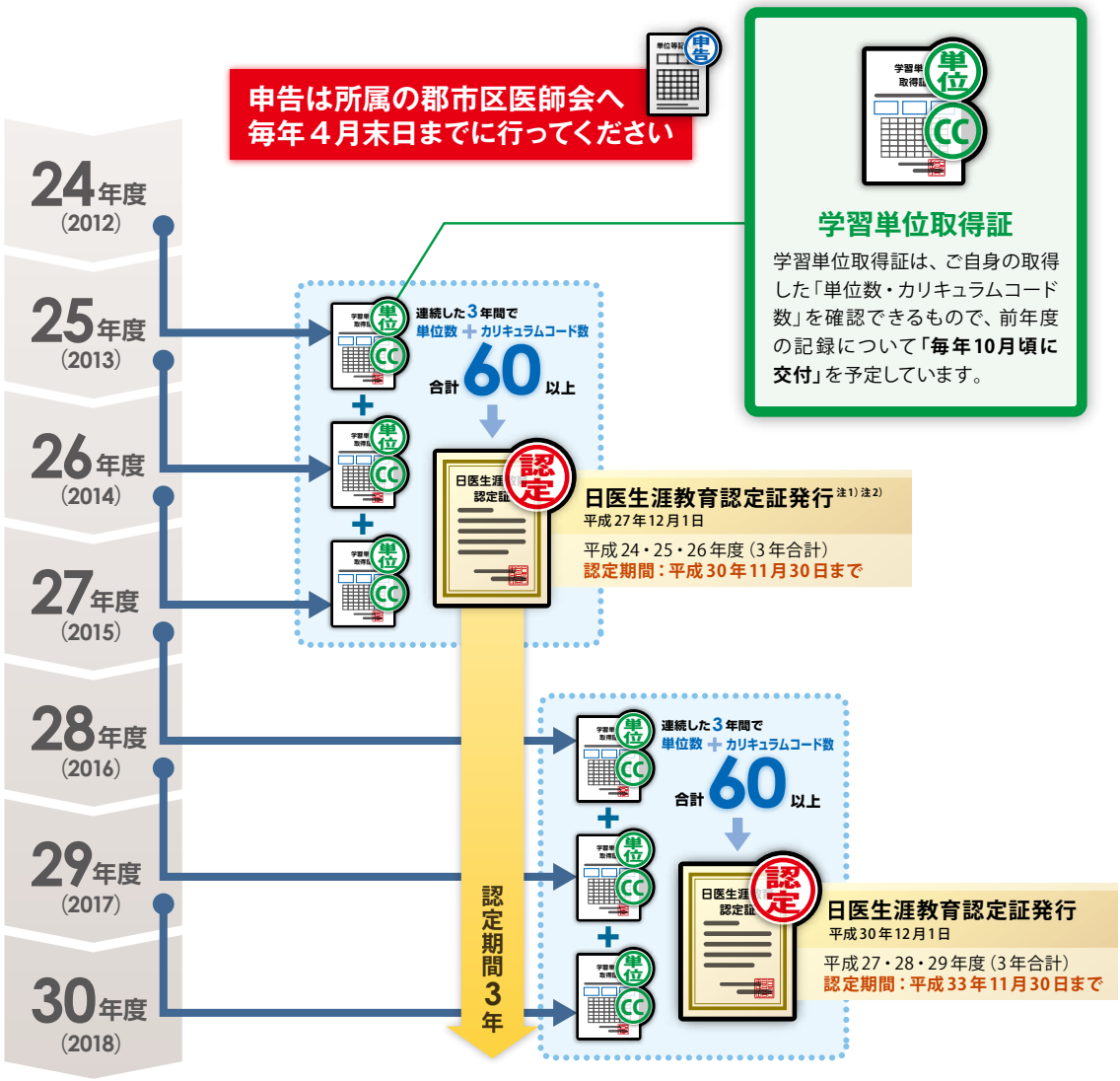
「日本医師会」に報告された単位及びカリキュラムコードのデータに、日本医師会が管理する単位・カリキュラムコードを加算し、個々の申告者の年間合計取得単位・カリキュラムコードを確定し、毎年10月頃に「学習単位取得証」（取得カリキュラムコードを含む）を発行します。
そのうえで、連続した3年間の単位数とカリキュラムコード数の合計数が60以上の者に、日医生涯教育認定証を発行します。
なお、同一カリキュラムコードを重複して取得しても加算されません。



注）日医雑誌問題解答（インターネット・ハガキ）、日医e-ラーニング、研修管理システムを利用する講習会等の単位・カリキュラムコードは日本医師会で既に管理していますので、申告の必要はありません。

日医生涯教育認定証発行スケジュール（例）

○日医生涯教育認定証の認定期間は３年間です。



注1：日医生涯教育認定証の認定期間３年間の間は、単位数とカリキュラムコード数の合計が60以上となっても、日医生涯教育認定証は発行しません。

注2：認定期間内の日医生涯教育認定証をお持ちでない場合、直近の３年間（平成25・26・27年度）で単位数とカリキュラムコード数の合計で60を取得することにより、平成28年12月1日付で日医生涯教育認定証を発行します。

カリキュラムコード（略称：CC）

1 医師のプロフェッショナリズム	27 黄疸	56 熱傷
2 医療倫理：臨床倫理	28 発熱	57 外傷
3 医療倫理：研究倫理と生命倫理	29 認知能の障害	58 褥瘡
	30 頭痛	59 背部痛
4 医師―患者関係とコミュニケーション	31 めまい	60 腰痛
	32 意識障害	61 関節痛
5 心理社会的アプローチ	33 失神	62 歩行障害
6 医療制度と法律	34 言語障害	63 四肢のしびれ
7 医療の質と安全	35 けいれん発作	64 肉眼的血尿
8 感染対策	36 視力障害、視野狭窄	65 排尿障害（尿失禁・排尿困難）
9 医療情報	37 目の充血	66 乏尿・尿閉
10 チーム医療	38 聴覚障害	67 多尿
11 予防と保健	39 鼻漏・鼻閉	68 精神科領域の救急
12 地域医療	40 鼻出血	69 不安
13 医療と介護および福祉の連携	41 嗄声	70 気分の障害（うつ）
14 災害医療	42 胸痛	71 流・早産および満期産
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	72 成長・発達の障害
16 ショック	44 心肺停止	73 慢性疾患・複合疾患の管理
17 急性中毒	45 呼吸困難	74 高血圧症
18 全身倦怠感	46 咳・痰	75 脂質異常症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	76 糖尿病
20 不眠	48 誤飲	77 骨粗鬆症
21 食欲不振	49 嚥下困難	78 脳血管障害後遺症
22 体重減少・るい痩	50 吐血・下血	79 気管支喘息
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	80 在宅医療
24 浮腫	52 胸やけ	81 終末期のケア
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	82 生活習慣
26 発疹	54 便通異常（下痢、便秘）	83 相補・代替医療（漢方医療を含む）
	55 肛門・会陰部痛	0 その他

※ 同一カリキュラムコードを重複して取得しても加算されません。

単位・カリキュラムコード取得方法

日本医師会雑誌を利用した解答

日本医師会雑誌には毎号、特集のテーマに関連する問題（1題5問、計2題）を掲載します。
解答はインターネットまたはハガキにより行います。インターネットまたはハガキによる解答はどちらか一方とし、1題につき、60%以上の正答率を得たもの（5問中3問以上正解）に0.5単位を付与します。
日本医師会雑誌への解答掲載後、単位・カリキュラムコード付与については、インターネットで随時確認できますので、**できるだけインターネットでご解答ください。**
これにより取得した単位・カリキュラムコードは日本医師会で管理します。

1号（10問）
↓
1または2カリキュラムコード
合計1単位

生涯教育ポータルサイト
日本医師会 生涯教育 on-line
http://www.med.or.jp/cme/

日医 e-ラーニング

日本医師会生涯教育on-lineに掲載している1コンテンツにつき、1カリキュラムコード1単位を取得できます。
アセスメントにおいて、80%以上の正答率を満たした場合に単位・カリキュラムコードを付与します。正答率が80%に満たなかった場合は、再解答が可能です。
インターネットで取得した単位・カリキュラムコードは随時確認できます。
これにより取得した単位・カリキュラムコードは日本医師会で管理します。

1コンテンツ
↓
1カリキュラムコード
1単位

生涯教育ポータルサイト
日本医師会 生涯教育 on-line
http://www.med.or.jp/cme/

日医 e-ラーニングの受講について

生涯教育ポータルサイト
日本医師会 生涯教育 on-line
http://www.med.or.jp/cme/

日本医師会生涯教育on-lineのページには、上記2コンテンツを含む、日医会員のみなさま向けの「情報・コンテンツ」が数多く掲載され、みなさまのユーザーID・パスワードでログイン可能です。
なお、インターネット上で取得した単位・カリキュラムコードは、インターネット上で確認できます。

■ ユーザーID

会員ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角で入力）です。
日医雑誌などの**宛名シール下部に印刷されている10桁の数字**です。

〈日医雑誌などの宛名シール見本〉

〒113-8621
東京都文京区本駒込2-28-16
○△医院
日医 太郎　様　　ユーザーID
2016/3/1　13-0　0000000000

■ パスワード

生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」を並べた6桁の数字です（半角で入力）。
例えば、**“昭和37年（1962年）2月4日生まれ”**の場合、**「620204」**となります。

医師資格証ポータルサイト

■ 講習会等の受講履歴が確認できます。 注）研修会管理システムを利用している講習会等に限ります。

講習会・講演会・ワークショップ等

各講演内容に対応したカリキュラムコードと単位を取得できます。
講義時間1時間で1単位（最小単位は30分で0.5単位）とします。**1日の上限は設けません。**
1カリキュラムコードの付与は最短30分（0.5単位）です。単位数は、各カリキュラムコードごとに集計されます。

①日本医師会（日本医学会を含む）、都道府県医師会、郡市区医師会の主催
プログラムに示されている単位・カリキュラムコードを取得できます。

②日本医学会総会及び都道府県単位以上で開催される
日本医学会分科会（P8参照）の主催
30分ごとに講演内容に対応した1カリキュラムコードを自己申告（申告者による自由選択）で取得できます。
ただし、1時間（30分+30分）以上でも同じ内容の演題には同一カリキュラムコードを指定します。

③上記以外の各科医会、研究会など、各種団体の主催
都道府県医師会（または郡市区医師会）に事前に届出があったものについて、プログラム・参加証等に示されている単位・カリキュラムコードを取得できます。

30分 → 1カリキュラムコード 0.5単位

体験学習（共同診療、病理解剖見学、症例検討、手術見学等の病診・診診連携の中での学習）

体験学習は1時間1単位で、1日の上限は5単位までとなります。
最小単位は30分で0.5単位（1カリキュラムコード）となります。
カリキュラムコードは内容に応じたカリキュラムコードを自己申告（申告者による自由選択）で取得できます。
なお、それにより報酬を得るものについては体験学習とはなりません。

30分 → 1カリキュラムコード 0.5単位

医師国家試験問題作成

医師国家試験問題作成は、都道府県医師会（郡市区医師会）に提出されたものについて1題1単位とし、年間5単位まで取得できます。グループで作成されたものについても1題につき、一人ひとりが1単位を取得できます。
カリキュラムコードは「0・その他」のみ取得できます。

1題 → 1単位

臨床実習・臨床研修制度における指導

臨床実習・臨床研修制度における指導の単位は、研修者1人を1日指導することにより1単位とし、年間の単位の上限は5単位までとします。
カリキュラムコードは「1・医師のプロフェッショナリズム」のみ取得できます。

1人（1日） → 1単位

医学学術論文・医学著書の執筆

医学学術論文・医学著書の執筆（共同執筆も含む）は1回（または1件）あたり1単位で、年間の上限は5単位までです。カリキュラムコードは1回（または1件）につき、内容に応じて2つまで自己申告（申告者による自由選択）で取得できます。

1回（1件） → 2カリキュラムコード 1単位

日本医学会分科会（123学会）

日本アレルギー学会
日本医学教育学会
日本医学放射線学会
日本胃癌学会
日本医史学会
日本移植学会
日本医真菌学会
日本医療機器学会
日本医療情報学会
日本医療・病院管理学会
日本ウイルス学会
日本衛生学会
日本衛生動物学会
日本栄養・食糧学会
日本疫学会
日本温泉気候物理医学会
日本解剖学会
日本化学療法学会
日本核医学会
日本眼科学会
日本癌学会
日本感染症学会
日本肝臓学会
日本癌治療学会
日本緩和医療学会
日本気管食道科学会
日本寄生虫学会
日本救急医学会
日本矯正医学会
日本胸部外科学会
日本形成外科学会
日本外科学会
日本血液学会
日本結核病学会
日本血管外科学会
日本血栓止血学会
日本口腔科学会
日本高血圧学会
日本公衆衛生学会
日本交通医学会
日本呼吸器学会
日本呼吸器外科学会
日本呼吸器内視鏡学会
日本細菌学会
日本産科婦人科学会
日本産業衛生学会
日本磁気共鳴医学会
日本耳鼻咽喉科学会
日本周産期・新生児医学会
日本集中治療医学会
日本循環器学会
日本消化器外科学会
日本消化器内視鏡学会
日本消化器病学会
日本小児科学会
日本小児外科学会
日本小児循環器学会
日本小児神経学会
日本職業・災害医学会
日本自律神経学会
日本神経学会
日本神経病理学会
日本人工臓器学会
日本心身医学会
日本腎臓学会
日本心臓血管外科学会
日本人類遺伝学会
日本睡眠学会
日本生化学会
日本整形外科学会
日本生殖医学会
日本精神神経学会
日本生体医工学会
日本生理学会
日本脊椎脊髄病学会
日本先天異常学会
日本造血細胞移植学会
日本大腸肛門病学会
日本体力医学会
日本超音波医学会
日本手外科学会
日本透析医学会
日本糖尿病学会
日本動脈硬化学会
日本東洋医学会
日本内科学会
日本内視鏡外科学会
日本内分泌学会
日本乳癌学会
日本熱傷学会
日本熱帯医学会
日本脳神経外科学会
日本脳卒中学会
日本農村医学会
日本肺癌学会
日本ハンセン病学会
日本泌尿器科学会
日本皮膚科学会
日本肥満学会
日本病態栄養学会
日本病理学会
日本プライマリ・ケア連合学会
日本平滑筋学会
日本ペインクリニック学会
日本法医学会
日本放射線腫瘍学会
日本保険医学会
日本麻酔科学会
日本脈管学会
日本民族衛生学会
日本免疫学会
日本薬理学会
日本輸血・細胞治療学会
日本リウマチ学会
日本リハビリテーション医学会
日本臨床検査医学会
日本臨床細胞学会
日本臨床腫瘍学会
日本臨床スポーツ医学会
日本臨床薬理学会
日本リンパ網内系学会
日本レーザー医学会
日本老年医学会　（五十音順）

平成28年1月現在

公益社団法人 日本医師会 生涯教育課　TEL: 03-3942-6139

生涯教育ポータルサイト
日本医師会生涯教育on-line　http://www.med.or.jp/cme/

本制度の詳細につきましては、ホームページ掲載の「日医生涯教育制度」をご覧ください。

平成28年2月発行